

令和5年度 第1回 砂川市総合戦略推進委員会議事録

日 時 令和5年7月25日(火)

15時00分～

場 所 市役所3階会議室

○委員

団体名	役職		備考
砂川商工会議所	会 頭	其 田 勝 則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡 本 昌 昭	欠席
砂川観光協会	会 長	石 家 裕 二	
砂川建設協会	会 長	三 土 壽 廣	
砂川青年会議所	理事長	仲 里 浩	
新砂川農業協同組合	専務理事	渡 部 延 三	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	渋 谷 浩 樹	
砂川市校長会	会 長 (空知太小学校校長)	佐 藤 浩 之	
砂川地区連合会	会 長	田 畑 秀 也	欠席

○市役所

総務部長	板 垣 喬 博
総務部審議監	安 原 雄 二
市民部長	堀 田 一 茂
保健福祉部長	安 田 貢
経済部長	野 田 勉
建設部長	斉 藤 隆 史
教育次長	東 正 人
市立病院事務局長	朝 日 紀 博

○事務局

総務部政策調整課長	玉 川 晴 久
総務部政策調整課企画調整係	長 谷 川 亮
総務部政策調整課企画調整係	中 陳 一 輝
総務部政策調整課企画調整係	三 浦 一 之

1. 開 会

【政策調整課長】

本日は、お忙しいところお集まりいただき誠にありがとうございます。

ただいまから、令和5年度第1回砂川市総合戦略推進委員会を開催させていただきます。

2. 委嘱書交付

【政策調整課長】

本日は、本委員会の構成団体のうち、1月1日付で砂川青年会議所が櫻井理事長から仲里理事長へ、4月1日付で砂川市校長会が國行会長から佐藤会長へ、4月5日付けで新砂川農業協同組合が佐々木組合長から渡部専務理事へ委員の変更がありました。本日は今年度初めての会議ですので、同日にさかのぼり、飯澤市長から委嘱書を交付させていただきます。市長、お願いいたします。

－委嘱書交付－

【政策調整課長】

それでは、本会議の開催にあたり、飯澤市長より挨拶を申し上げます。

3. 市長挨拶

【市長】

皆さんお疲れ様です。本日はお集まりいただきまして大変ありがとうございます。

本日の会議は昨年8月以来の開催と伺っております。これまで総合戦略に掲げて取り組んでまいりました各事業について、昨年1年間の実績がどうであったか、また、本年度予算についても6月定例会市議会におきまして、政策予算も加わりましたのでそれら内容を踏まえた計画変更について、ご検証、ご協議をいただく会議となっておりますので、市民目線からいろいろな意見を伺いたいと思っております。よろしくお願いいたします。

本市のまち・ひと・しごと創生総合戦略は平成27年度に策定しておりまして、同時に2060年の将来人口を推計する人口ビジョンを策定するとともに、直面している人口減少と地域経済の縮小などの課題を把握し、地域の活力の創生の実現に向けて、目標と具体的な施策を取りまとめて各種事業について取り組みを進めているところでございます。

また、本市の長期計画で定めている将来の目標人口としては、人口ビジョンでは平成26年当時、2060年に8300人となる国の機関における推計に対しまして、約1万人を確保するとしております。第7期総合計画では令和2年当時、2030年に

13,176人になるという国の機関における推計に対し、合計特殊出生率の上昇や社会減の抑制に取り組むなどにより、15,000人を目標人口と定め、各施策に取り組むこととしてそれぞれ定めております。

これまで総合戦略の基本的な柱に沿って、様々な事業に取り組んでまいりました。特に若い世代、子育て支援策の充実といたしまして、乳幼児等医療費助成の小学生での助成の拡充、乳児オムツ無料クーポン券の交付、多子世帯保育料負担軽減事業、学童保育料の見直し、砂川高校の支援として、模擬試験受験料補助金や大学入学奨学補助金の拡大など、子育て世代の負担軽減を図り、子育てのしやすい環境を整えてまいりました。

また、地域経済の活性化や住環境の整備による定住促進を図るため、創業支援や農業担い手支援など、商工業や農業の振興、地域ブランド構築事業、観光協会と連携した協会ホームページのリニューアル、移住定住促進住宅の整備、ハートフル住まいる関連補助金の拡充、住み替え支援関連補助金を新設、それらなどに取り組みまして、何とか総合戦略で掲げた数値目標の達成を図りながら、人口減少を食い止めるよう、施策を実行してきたところでございます。現在の当市の人口につきましては、直近6月末時点で15,706人となっております。総合戦略の取り組みの効果としては、人口動態における社会増減で申しますと、総合戦略策定前の平成26年では転出者が転入者を200人以上上回る状況でありましたが、昨年の令和4年は58人となっております。効果が出てきているものと感じております。この傾向については、今後も総合戦略の取り組みを通じて維持し、全国的に少子高齢化による人口減少がますます進む中で、何とか工夫を凝らしながら当市の人口の減少に歯止めをかける施策に取り組んでいかなければならないと考えております。

今回、私の市長就任後初めてとなる政策予算においては、小学生以下の医療費無料化、来年からは中学生・高校生も無料化するとしております。これについては所得制限も撤廃してございます。また、小中学校の給食費の無償化、さらには保育所・教育施設におけるデジタルを活用した環境整備など、子育て支援については強化をさせていただいております。

また、今後はまちの元気の源は企業の活力であるということから、頑張っている企業さんを応援する施策にも取り組むほか、国においても今回、国版の総合戦略を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」と改め、地方の社会課題解決や魅力向上の取り組みを加速化・深化させることとしておりますので、本市といたしましても、まちの課題解決に向けては、デジタルを活用した施策も検討するなど、可能なものは取り入れながら本市の総合戦略を推進してまいりたいと考えております。

本日の推進委員会が活発な意見交換の場となるようご期待を申し上げまして、一言ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

【政策調整課長】

ありがとうございました。市長におかれましては、次の公務がございますので、ここで退席いたします。

—市長退席—

【政策調整課長】

それでは、会議に入りたいと思いますけれども、会議につきましては其田委員長のお手元で進行していただきたいと思います。其田委員長におかれましては、正面の席にご移動願います。

それでは、其田委員長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしくお願いいたします。

4. 委員長挨拶

【委員長】

1年ぶりの総合戦略推進委員会ということでして、先ほど市長が言ったように、8月1日に開催されたのですけれども、年に1回この計画についての成果や変更点を考える大事な会議になっておりますので、皆さんからの忌憚のないご意見を期待しております。

総合戦略につきましても、平成27年度に第1期の計画を策定しまして、毎年計画の見直し、事業の推進を図ってきたところでございますが、令和3年度から第2期目の総合戦略になりまして、この間に、先ほど市長が言っておりましたけれども、国のDXの推進だとかデジタル田園都市国家構想などがありまして、第2期から砂川市においても、DX、マイナンバーカードなどの国家戦略に見合うような取組を進めているところでございます。後ほど、令和4年度の実績について事務局からご説明があるかと思いますが、それぞれの担当分野、自分たちの分野と関係する団体での色々な案件も出てきますので、その中で忌憚のないご意見をいただければと思います。この計画は、総合計画に次いで、砂川の指針となる大事な計画でございますので、そういった意味も込めて、ちょっと重たい会議だということも自覚しながら、皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

【政策調整課長】

ありがとうございました。それでは、この後の議事につきましては、其田委員長のお手元で進行をお願いいたします。

5. 報告事項

(1) 企業版ふるさと納税の実績報告について

【委員長】

それでは、次第に従って進めてまいりたいと思います。5番目の報告事項、「企業版ふるさと納税の実績報告について」、事務局の方からご説明願います。

－事務局より説明－

【委員長】

それでは、只今の説明について、皆様の方からご質問・ご意見はございますか。

－質疑等なし－

【委員長】

無いようでございますので、報告事項については以上とさせていただきます。

6. 協議事項

(1) 第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について

【委員長】

それでは、協議事項に入っていきたいと思います。協議事項の1番、「第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について」ということで、令和4年度分の検証になります。事務局から一括してご説明をお願いいたします。

－事務局より説明－

【委員長】

令和4年度の総合戦略の検証についてご報告がありました。このことについて、皆さんの方から、何かご意見・ご質問があれば承りたいと思いますが、ございませんか。各分野、多岐に渡っておりますけれども、もっと深堀したいことなどございませんか。

全体の8割以上が7割達成ということで、こんなものかなという気がしないでもないですが、これからコロナ明けで色々なことで動きがありますので、期待感は皆さん持っているのかなと思います。

青年会議所としては、DXの関係で総合戦略の計画づくりの時にも色々懇談したみたいですが、青年会議所の方から何かございますか。

【委員】

この資料も十分に目を通し切れていないのですけれども、私も色々なまちで事業をやるときには、総合戦略を見させてもらって、色々と考えながらやっていますけれども、僕ら青年世代としては地域に職業を創出したりすることも非常に重要だと思っていますが、まだそういったところはなかなか力不足だなと感じています。先ほど DX のお話もありましたけれども、これからも頑張っていきたいなという気持ちでございますので、今後もよろしくお願いします。

【委員長】

今、Uターン、Iターン、Jターン、いわゆる移住といった形で、色々なまちが取り組んでいるのですが、そちらの方がまだ成果が弱いということで、そういったところの対策についてはどうでしょうか。

【総務部長】

移住定住については、ここ数年間はコロナの影響もありまして、目標値 11 件に対して、実績が、令和 3 年度は 2 件、令和 4 年度は 6 件でした。コロナ前を見ますと、令和元年度は 7 組 15 人、平成 30 年度は 11 組 21 人、平成 29 年度は 14 組 31 人と、順調に推移していたという経過があります。移住定住促進事業については、平成 28 年度からお試し暮らしの住居を 3 棟に増やして運用してきましたが、令和元年度に民間住宅 1 棟を契約期間終了に伴って引き払い、それ以降は 2 棟を運営しておりました。しかし、令和 5 年度の 5 月 8 日以降、コロナ感染症が 5 類に引き下げになって人の動きが活発になることが予想されたことと、令和 5 年 3 月末で石山中学校が閉校になり、校長・教頭住宅が普通財産に移管されたことから、教頭住宅を移住体験住宅として運用し、3 棟体制に戻して予約受付を開始したところです。秋口までは順調に予約が埋まっており、今後もしっかりと PR をしながら、砂川市の良さを体験していただき、最終的には移住に繋げていけるように粘り強く進めていきたいと考えているところです。

【委員長】

砂川の良さを知ってもらわないといけないわけですが、それは民間の人たちが色々な場面を作ってあげて、体験をさせてあげるというのが非常に大事で、観光協会としても大変だと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

観光協会としましても、イベントとかはやりますけれども、他所から来てもらって、一円でも多くお金を落としてもらおうということが観光協会の役割だと思っています。移住定住につきましても、一般の方の移住定住もあります。今はご存じの通り商店街の空き店舗も増えている。程度のいい店舗はあまりないが、商売をした

い人が店舗を借りて、そこに住みながら商売をやるような移住定住の施策も必要かなと思っています。どんどん商店街も空き店舗、空き地が増えていきますし、古い店舗が多いのでそれを使えるのかは微妙だが、家主さんと交渉して、安く貸していただけたら、自由に改築しても良いようにしたりするといった施策が必要だと思います。

【委員長】

具体的に新規で開業したケースも何件かありますけれども、それを対外的にPRできれば心強いので、そういったことは、ぜひともお願いしたいところです。

他に皆さんのほうから何かございませんか。

【委員】

農業委員の関係で、新規就農フェアというものに行ってきたんですけども、農業を志している人もそれなりの人数はいたというところで、それをいかにして砂川に連れてくるかだと思いますけれども、他の市町にも聞いたんですが、地域おこし協力隊だとかから入ってくるのが流れになっているのかなと。あとは市町単位の補助金だとかで魅力を出しているブースも結構あったということで、農業関係も高齢化でなかなか担い手もないような状況で、今後は空き地等も出てくる可能性もあるので、何とか跡目を見つけられればいいのかと思っています。農協単独では当然できませんし、市の協力を仰ぎたい。

もう1点、農地の区分で白地、青地というのがありますが、白地だとメリットが少ないということで、農業委員会の中で令和7年までに国からのお達しで目標地図を作るんですけども、これは「地域で農地として守っていきましょう」というものだが、「ここは農地として守るんだ」と決めたら、そこを青地に変更していただけないかというのが私の願い。メリットがかなり違ってくるので、そうすることによって離農しないだとかが出てくるのかなと思っています。この辺は市の管轄の話になってきますので、ご検討願いたいと思っています。

【経済部長】

今の件で、少々触れさせていただきます。まず、新規就農と地域おこし協力隊の関係ですが、既に地域おこし協力隊で1名就農しています。地域おこし協力隊といっても、具体的には、研修含めて農業支援を行っているということで、現在3名の地域おこし協力隊が在席していますが、1名は今月末で就農することとなっていて、この方は東豊沼の農場にて、ブドウでワインを造っております。その他2名が研修中であり、1名は来年就農しようということで頑張っているところです。新規就農フェアというよりも、この4人は砂川に何か魅力を見出して、砂川市の地域おこし協力隊になって、その後の研修に取り組んでいます。人数は少ないですが、地道にやっていきたいと考えているところです。

次に、白地青地についてですが、農振農用地は農業に縛りがある地域なのですが、ここは長期間見直しをしていないところなので、来年以降2、3年程度かけて見直しを進めていきたいと検討している最中です。

【委員長】

他にございませんか。ないようであれば、これで協議事項（1）「第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証について」は終了したいと思います。

（2）第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画変更について

【委員長】

続きまして、協議事項（2）「第2期砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画変更について」、事務局からご説明をお願いいたします。

—事務局より説明—

【委員長】

計画の変更については、デジタル化に関連する文言の整理と、飯澤新市長の政策予算に伴う計画変更ということでございます。今ほどご説明のあった内容について、皆さんの方からご意見、ご質問等ございますか。

【委員】

金融機関としてお手伝いできる分野は限られてきますが、石家会長の仰っていた商工業の新規創業については、銀行としても当然取り組みたいのですが、銀行がなかなかその辺を探してくることは難しいという部分もありますので、その辺はやはり市といいますか、地方公共団体、あとは色々な公的団体が力を合わせないといけないのかなと思っております。銀行としてもお金を貸してなんぼの世界なので、できるだけ協力はしたいですが、銀行単独では難しいという部分もありますので、皆さん、特に砂川市の協力は必要なのかなと感じております。

【委員長】

建設関係を代表して、建設協会からはいかがでしょうか。

【委員】

建設業も直接関わることは少ないが、まちの行事やボランティア等、砂川のメインのイベントのお手伝いをしたり、多少ですが資金の援助もさせてもらっています。あとは、保育所に関してのボランティアも行ったりと、そんなことを含めて住みやすい場所を作っていくのがまちづくりだと思って、お手伝いしているところです。

【委員長】

建設協会も様々なボランティアを行っていただけて助かっています。業界としてやはり人手不足はまだまだあるんですか。

【委員】

専門学校で土木をやっているところなんてないですし、工業高校も滝川に1校あるが、電気関係しかない。建設業に若い人を呼び込もうと色んなことをしているが、なかなか興味を示してもらえない。なかなか難しい業種であり、必要とされる建設業を目指しているが、深刻な問題だなと思っております。

【委員長】

言われたとおり、段々高齢化しているし、若い人が入っていない。我々が求人する時にハローワークに行くのは、常識のようにやっておりますが、他にメディアやSNSを使って募集していくのは、業者に頼むと高いので個別にはできない。銀行さんもそうですが、安くできるようにサービスの提供とかも行っていますが、こちらでもなかなか今の時代に我々自体が追い付いていけないので、そこら辺も色々な支援とかもあれば、標準のシステムの構築などができれば業界としても嬉しいとは思いますが。

最後に校長会から全体を通して何かご意見あればお願いします。

【委員】

全体を通してということにはならないかと思えますけれども、今回初めてこの委員として参加させていただきましたが、まずはこの概略についてお勉強させていただいているところです。その中でも、総合戦略の目指す姿に注目させていただきました。2点目に「安心して生み育て」という言葉がございますが、ここに着目した理由としては、ここに教育が関わってくる部分が大きいのかなと考えているところでございます。

今、学校が令和8年度の義務教育学校開校に向けて様々な検討、着手をしており、各部会に分かれて管理職、一般職員も含めて検討しているところです。そこを丁寧にやっていくことが「安心して生み育て」というところに繋がっていくのかなと考えますので、そういった視点でも、しっかりとやってまいりたいと思えます。

【委員長】

大変貴重なご意見ありがとうございます。

【委員】

1点よろしいでしょうか。先日、テレビで東川町の話がありまして、人口が伸びているまちということで、なぜそこに行くのかということ、子どもが育てやすいとい

うのが一番の理由だそうです。こういう会議も大事だと思いますが、年配の人間だけで話をしても良い知恵は出てこないと思うので、子育て世代の方に意見を求めるのも一つの手なのかなと思います。

何せ人を増やさないことにはどうしようもないので、そういった世代の人を入れていくのも大事なのかなと思います。

【委員長】

総合戦略に影響するということではなくて、砂川市の全体の方向の中で、今日のご意見は、できることはやっていくという形で取り組めたらうれしいと思いますし、ご理解していただけたらと思います。

他にご意見はありませんか。なければ（２）砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画変更については以上とします。

7. その他

【委員長】

次に、7.「その他」ということで、事務局の方から何かありますか。

【事務局】

今回、皆さんにご協議いただいた総合戦略につきましては、決定版として皆様に配布いたしますので、よろしくお願いいたします。以上です。

【委員長】

全体を通して、皆さんの方から何かありますか。

— なし —

【委員長】

それでは以上をもちまして、第1回砂川市総合戦略推進委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

終 了